

# ＜旭川＞北海道コンサドーレ旭川Uー15、フットサルで全国優勝 サッカー大会出られず切り替え

02/22 05:00



全国優勝を喜ぶ北海道コンサドーレ旭川Uー15のメンバー

旭川などの中学生でつくるサッカーのクラブチーム「北海道コンサドーレ旭川Uー15」が、第27回全日本Uー15フットサル選手権大会（日本サッカー協会主催）で初優勝した。目標にしていたサッカー大会が新型コロナウイルス禍で出場できなくなったため、フットサルに切り替えた選手たちが日本一に駆け上がった。

チームが本来目指していたのは、3年生が引退する大会と位置付けた高円宮杯第33回全日本Uー15サッカー選手権大会。出場権を獲得するため道カブスリーグUー15に参戦した。しかしコロナ禍で試合中止が相次ぎ、要件を満たせず出場への道が途絶えた。選手たちは諦めずに活躍の場を求め、「それならフットサルで全国優勝しよう、と目標を変えた」と中村拓朗監督（38）は振り返る。

サッカーとルールは似ているが、コートやボールの大きさ、プレーする選手数も違うフットサル。それでも、昨年11月に行われた旭川予選と道北ブロック予選をともに1位で通過し、同12月の北海道代表決定戦も制して全国へ。

三重県で1月8～10日に開かれた全国大会は、16チームを4ブロックに分けた1次ラウンドの後、各1位による決勝ラウンドで競った。快進撃は止まらない。3戦全勝で決勝ラウンドに進み、準決勝で松山城北FC（愛媛県）に5ー0で快勝。決勝では東急SレイエスFC（神奈川県）に先制を許したものの、その後は中田悠惺（ゆうせい）選手（美瑛中3年）が2得点、横山颯大（そうた）選手（東神楽中3年）がハットトリックを決めるなど、6連続得点で振り切った。

最後の大会で有終の美を飾り、主将の菅谷脩人（しゅうと）選手（旭川・神居東中3年）は「もう仲間とサッカーをできないのはさみしいが、最後に優勝できてよかった」と笑顔を見せた。（佐藤愛未）